

南東北レフェリートレーニングセンター研修会を開催しました

9月2日（土）から3日（日）の2日間、東北プリンスリーグとF1リーグをお借りして、南東北レフェリートレーニングセンター研修会が開催されました。

2日間の研修では、「判定に説得力を持たせるポジション（位置と角度）の追求」をテーマに、1日目は、実践を映像に収めVTR振り返り研修にて、争点への距離、角度、体の向き等の説得力あるポジションの共有をしました。

2日目は、プラクティカルトレーニングにて更にポジションの追及を深めました。

【インストラクターコメント】

阿久津憲仁 サッカー2級審判インストラクター

今回、東北インストラクタートレセンへ参加させて頂き、2日間有意義な時間を過ごす事ができました。

1日目は実技指導研修を行い、試合映像を観て審判員の課題の抽出を行いました。

2日目はデモンストレーターに帝京高校サッカー部の皆様のご協力をいただきプラクティカルトレーニングを実施しました。

動きとポジショニングをテーマに場の設定を考え実施しました。なかなかプラクティカルトレーニングは県内でも実施が難しい（場所とデモの確保）こともあり今回の経験は大変有難かったです。

今回のプラクティカルトレーニングでは帝京高校サッカー部の皆さまのご協力もあり内容的には充実した内容で終わることができました。改めて感謝申し上げます。

今回の研修を今後の審判員への指導・育成に役立てていきたいと思えます。

笹島貞夫 サッカー2級審判インストラクター

9/2（土）～3（日）東北イントレ福島に参加しました。9/2 東北 PL の試合で審判アセッサーと試合分析&ビデオクリップ研修を行い、審判員とディスカッションをすることができました。9/3 帝京安積高校 IVY FIELD にて、プラクティカルトレーニングの実践指導を行いました。帝京安積高校サッカー部の協力のもと審判員6名と「動きとポジショニング」をテーマにトレーニングを行いました。「傾聴力と質問力」をキーワードに取り組みました。振り返りで、改善点等をディスカッションし充実した研修となりました。

たくさんの方の協力により研修の機会が与えられ感謝申し上げます。貴重な経験の場となりました。今後の指導に生かせるように努力していきます。

馬上一彦 サッカー2級審判インストラクター

9月3日（日）帝京安積高校 IVY FILED に於いて審判員6名に対してプラクティカルトレーニングの実践指導を行いました。テーマとして『動きとポジショニング』ということで私はPA内の判定の見極めを副題としてPA内にボールが入ったときにレフェリーとしてどのポジショニングに動いた方が争点が見やすいのかをレフェリーに気づかせたく実践指導を行いました。2級審判員である皆さんは概ね良い動きでポジショニングを取っておりましたが、時には争点が見つらいことで判定に悩んでいる場面がありましたが、しっかり自ら課題点を把握して実践を繰り返して行くうちに修正できておりました。振り返りの場では審判員の方から活発な意見があり、自分の課題の気づきができ良いプラクティカルトレーニングができました。

【受講者コメント】

池田知広 サッカー2級審判員

今回、東北審判トレセンの一員として研修に参加させていただきました。「判定に説得力を持たせるポジションの追求」をテーマとした今回のトレセン活動では、ゴール前の事象に対しての自分のポジションが事象をしっかり捉え判定でき、かつ説得力を持たせることができる位置と角度にあるのかを確認することができました。また、トレーニングならびにインストラクターの方々のご指導、他の審判員の方々のコミュニケーションを通して良かった点と課題となる点を明確にすることができ、多くの学びを得る機会とすることができました。今後のレフェリングでは今回学んだことを活かすとともに、常にテーマと課題を持って取り組んでいきたいと思っております。最後に、貴重な機会を経験させていただきました関係者の皆様、ありがとうございました。

高口俊樹 サッカー2級審判員

今回のテーマは動きとポジショニングということで、中盤からサイドに展開されセンタリングがあがる場面では今までは動いて角度を取ろうとしていましたが、止まって体の向きだけ修正すると視野の確保をしやすいとアドバイスを受けて、次回からは取り入れていこうと思いました。

佐藤光将 サッカー2級審判員

2日間の研修会に参加し他のレフリーの試合観戦や映像研修を通して、争点との距離感、縦への動き方、他の審判員との協力など自分の課題を含めて、改めて求められるレフリングについて考えることが出来ました。

また、2日目に行ったプラクティカルトレーニングでは3つのシチュエーションを行い、初めの位置取りやボール展開後の動き方、ペナルティーエリア内での攻守の見極めなど、似た状況を繰り返し行うことで、どの位置、どの角度から見れば正しい判定ができるのかの精度を高めることが出来ました。

今後、上級を目指して行くうえで今回のような経験を活かし、精度の高い判定や説得力のある判定ができるように1試合1試合意識しながらレフリングを行っていきたいです。





